

論点

分子状水素医学
現在の水素水ブームは、2007年に日本医科大学の太田成男教授(細胞生物学)の研究チームが「水素ガスが有害な活性酸素を効率よく除去する」とする論文を「ネイチャー・メディスン」(電子版)に発表したこと

超高齢社会において摂食嚥下障害に苦しむ患者さんは年々増加しており、その一方で「口から食べる」を臨床介入によって取り戻せる患者さんも多数いる。そこで、1ドクターが摂食嚥下リハビリテーションを進めるだけでなく、関連病院・施設との連携、関係者への啓蒙・啓発活動を行い、摂食嚥下障害者をより広く、地域で支えるための施策を練ること

国立健康・栄養研究所のデータベースに、2016年6月10日に「水素水」も取り上げられました。その概要が現在のところの水素水と健康についての的確な評価だと思われま。俗に、「活性酸素を除去する」「がんを予防する」「ダイエット効果がある」などと言われているが、ヒトでの有効性について信頼できる十分なデータが見当たらない。現時点における水素水のヒトにおける有効性や安全性の検討は、ほとんどが疾病を有する患者を対象に実施された予備的研究であり、それ

水素は体内で作られる
水素は水に溶けにくく、1気圧、20℃のとき、水1キログラム(1リットル)に溶ける水素の最大量は0.0016g(1ミリグラム)、濃度にして1.6ppm(100,000分の1.6)という微量です。さらに開封すると抜けやすいため、水素を多量に産生しています。おならの1、2割は水素なのです。大腸内の腸内細菌によって発生するガスは毎日7〜10リットルも発生します。その成分で最も多いのは水素です。一部は外へ排出されますが、大部分は体内に吸収されて血液循環に乗っていきます。その中の水素は水素水から摂取する

水素は体内で作られる
水素は水に溶けにくく、1気圧、20℃のとき、水1キログラム(1リットル)に溶ける水素の最大量は0.0016g(1ミリグラム)、濃度にして1.6ppm(100,000分の1.6)という微量です。さらに開封すると抜けやすいため、水素を多量に産生しています。おならの1、2割は水素なのです。大腸内の腸内細菌によって発生するガスは毎日7〜10リットルも発生します。その成分で最も多いのは水素です。一部は外へ排出されますが、大部分は体内に吸収されて血液循環に乗っていきます。その中の水素は水素水から摂取する

水素は体内で作られる
水素は水に溶けにくく、1気圧、20℃のとき、水1キログラム(1リットル)に溶ける水素の最大量は0.0016g(1ミリグラム)、濃度にして1.6ppm(100,000分の1.6)という微量です。さらに開封すると抜けやすいため、水素を多量に産生しています。おならの1、2割は水素なのです。大腸内の腸内細菌によって発生するガスは毎日7〜10リットルも発生します。その成分で最も多いのは水素です。一部は外へ排出されますが、大部分は体内に吸収されて血液循環に乗っていきます。その中の水素は水素水から摂取する

水素水ってどうなの？

左巻健男
法政大学教職課程センター教授・理科の探検(Rikatan)誌編集長

国立健康・栄養研究所の評価
水素水は、口コミ的に「メタボに効く」「シミやシワに効果がある」「お酒の前に飲むと二日酔いにならない」などといわれていますがその根拠は非常に弱いです。体験レベルです。ですから清涼飲料水として販売されています。

水素水は、口コミ的に「メタボに効く」「シミやシワに効果がある」「お酒の前に飲むと二日酔いにならない」などといわれていますがその根拠は非常に弱いです。体験レベルです。ですから清涼飲料水として販売されています。

水素は体内で作られる
水素は水に溶けにくく、1気圧、20℃のとき、水1キログラム(1リットル)に溶ける水素の最大量は0.0016g(1ミリグラム)、濃度にして1.6ppm(100,000分の1.6)という微量です。さらに開封すると抜けやすいため、水素を多量に産生しています。おならの1、2割は水素なのです。大腸内の腸内細菌によって発生するガスは毎日7〜10リットルも発生します。その成分で最も多いのは水素です。一部は外へ排出されますが、大部分は体内に吸収されて血液循環に乗っていきます。その中の水素は水素水から摂取する

水素は体内で作られる
水素は水に溶けにくく、1気圧、20℃のとき、水1キログラム(1リットル)に溶ける水素の最大量は0.0016g(1ミリグラム)、濃度にして1.6ppm(100,000分の1.6)という微量です。さらに開封すると抜けやすいため、水素を多量に産生しています。おならの1、2割は水素なのです。大腸内の腸内細菌によって発生するガスは毎日7〜10リットルも発生します。その成分で最も多いのは水素です。一部は外へ排出されますが、大部分は体内に吸収されて血液循環に乗っていきます。その中の水素は水素水から摂取する

水素は体内で作られる
水素は水に溶けにくく、1気圧、20℃のとき、水1キログラム(1リットル)に溶ける水素の最大量は0.0016g(1ミリグラム)、濃度にして1.6ppm(100,000分の1.6)という微量です。さらに開封すると抜けやすいため、水素を多量に産生しています。おならの1、2割は水素なのです。大腸内の腸内細菌によって発生するガスは毎日7〜10リットルも発生します。その成分で最も多いのは水素です。一部は外へ排出されますが、大部分は体内に吸収されて血液循環に乗っていきます。その中の水素は水素水から摂取する

特別生涯研修 摂食嚥下障害に関わる歯科医の役割

井上 誠氏 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学教授)

本講演では、摂食嚥下障害の臨床を行う際、摂食嚥下機能の基礎を考慮することがいかに大切かということ、口腔機能の維持改善の担い手である歯科医の役割について解説する。

超高齢社会において摂食嚥下障害に苦しむ患者さんは年々増加しており、その一方で「口から食べる」を臨床介入によって取り戻せる患者さんも多数いる。そこで、1ドクターが摂食嚥下リハビリテーションを進めるだけでなく、関連病院・施設との連携、関係者への啓蒙・啓発活動を行い、摂食嚥下障害者をより広く、地域で支えるための施策を練ること

超高齢社会において摂食嚥下障害に苦しむ患者さんは年々増加しており、その一方で「口から食べる」を臨床介入によって取り戻せる患者さんも多数いる。そこで、1ドクターが摂食嚥下リハビリテーションを進めるだけでなく、関連病院・施設との連携、関係者への啓蒙・啓発活動を行い、摂食嚥下障害者をより広く、地域で支えるための施策を練ること

超高齢社会において摂食嚥下障害に苦しむ患者さんは年々増加しており、その一方で「口から食べる」を臨床介入によって取り戻せる患者さんも多数いる。そこで、1ドクターが摂食嚥下リハビリテーションを進めるだけでなく、関連病院・施設との連携、関係者への啓蒙・啓発活動を行い、摂食嚥下障害者をより広く、地域で支えるための施策を練ること

超高齢社会において摂食嚥下障害に苦しむ患者さんは年々増加しており、その一方で「口から食べる」を臨床介入によって取り戻せる患者さんも多数いる。そこで、1ドクターが摂食嚥下リハビリテーションを進めるだけでなく、関連病院・施設との連携、関係者への啓蒙・啓発活動を行い、摂食嚥下障害者をより広く、地域で支えるための施策を練ること

本講演では、摂食嚥下障害の臨床を行う際、摂食嚥下機能の基礎を考慮することがいかに大切かということ、口腔機能の維持改善の担い手である歯科医の役割について解説する。

超高齢社会において摂食嚥下障害に苦しむ患者さんは年々増加しており、その一方で「口から食べる」を臨床介入によって取り戻せる患者さんも多数いる。そこで、1ドクターが摂食嚥下リハビリテーションを進めるだけでなく、関連病院・施設との連携、関係者への啓蒙・啓発活動を行い、摂食嚥下障害者をより広く、地域で支えるための施策を練ること

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

雇用管理対策講習会③
雇用トラブル事例から学ぶ納得の対処法
基本知識から応用まで
日時 9月24日(土) 午後6時〜8時
会場 保険医会館5階 定員 20人
講師 堀口正二氏(協会税理士社労士団・社労士)
会費 会員・家族3千円、未入会者1万円

個別指導対策講習会(会員本人限定)
増える内部告発、患者通報への対応
日時 10月15日(土) 午後6時〜8時
会場 保険医会館5階会議室
講師 社保研究部講師団 定員 60人
会費 会員千円(会員本人限定)
※「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト2013年8月版」をご持参ください

山崎豊子先生の素顔
女性医師・歯科医師の会
日時 10月29日(土) 午後3時〜5時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 野上孝子氏(山崎豊子氏元秘書)、田中光子氏(株文藝春秋)
会費 無料 定員 1000人

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。